

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つばさ学園療育相談事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	02	07	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課		障害者支援課		
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長		小西 和典		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	0歳から18歳未満の児童とその保護者	意図	心身の成長や発達に心配のある乳幼児及び児童に対し、専門的かつ総合的な相談が行える相談室を開設し、障害児の早期発見、早期療育に努める。
事業内容	相談、面接、診察、指導訓練、総合的な相談などを通して、効果的な療育支援を行い社会的自立と地域生活に向けて支援をする。			
事業開始から現在までの状況変化	心身の成長や発達に心配のある児童の相談を他機関と情報の一元化がなされていないことが、医師会の協力得、療育相談事業恵お開始した。医師の診断、心理士や言語聴覚士による検査を実施し、療育支援会議を通し関係機関（教育委員会、保育所、保健センター等）との連携を図っている。また、千葉県障害児（者）療育支援事業による保育所等巡回指導も実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 相談、診察件数	576	465	533	件	↑↑↑	
	② 面接・指導訓練件数	1,111	1,069	1,245	件	→→	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 総合的な相談をし、障害の早期発見・早期支援に努めています。 平成26年度の新規相談件数は168件であり毎年増加しています。（平成25年度136件、平成24年度115件）保育所等における巡回相談の需要も増えています。						
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		22,389,427	28,929,961	29,971,920			
事業費(b)(円)		8,033,427	7,968,961	6,866,070			
うち一般財源		5,478,665	5,060,409	3,369,570			
職員給与費(c)(円)		14,356,000	20,961,000	23,105,850			
人役・職員(人)		2.00	3.00	3.00			
人役・再任用(人)				1.00			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価						

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	相談員の資質向上とともに相談支援専門員の資格保有者を増やし、相談支援事業・保育所等訪問支援事業に関する内容の周知を図る。	③取り組みの課題	平成27年4月より、相談支援事業・保育所等訪問支援事業開始に向けて、受給者証保持者（児童）の数的把握や更新時期など計画相談に向け具体的な年間予定の作成が必要になる。
②今年度(H26)に実施した取り組み	千葉県相談支援従事者研修に参加させ、3名の職員が相談支援専門員としての資格を有することとなり報告会、勉強会をおこなった。	④今後の改善計画	受給者証発行制度の変更の周知と利用者へのスムーズなサービスを提供するため、担当職員の情報共有や手続きの見直しを図る必要がある。